

大学における情報セキュリティ対策 の取り組みと経営執行部の役割

愛知大学 情報システム課 三浦文博

目次

- 大学概要
- 情報セキュリティ導入経緯
- 情報セキュリティの取り組み
- 情報セキュリティ管理体制
- 現状と課題

大学概要

愛知大学は、1946年愛知県豊橋市に誕生しました。その前身ともいえる東亜同文書院(後に大学)は、1901年中国上海に設置され、日本の海外高等教育機関として最も古い歴史をもちます。当時貴族院議長であった近衛篤磨公が、東亜同文会を設立。東亜同文会の理念は教育文化事業によって日中友好提携を成し遂げることにあり、そのための人材育成が東亜同文書院大学の設立目的でした。後に首相となった近衛文磨公も1926年から5年あまり院長に就任しています。

アジア随一の国際都市であり、当時の文化や流行の発信地でもあった上海で、学問の自由を尊ぶ校風のもと、中国・アジア重視の国際人を養成。しかし、日本の敗戦によって東亜同文書院大学は中国に接收、半世紀にわたる歴史の幕を閉じたのです。その折、同大学最後の学長を務めた本間喜一(後に最高裁判所事務総長)は、新たな大学の設立を決意。1946年5月、本間学長の呼びかけに東亜同文書院大学等の教職員、学生の多くが集い、同年11月15日に愛知大学は中部地区唯一の旧制の法文系大学として誕生しました。



東亜同文書院



愛知大学創立者 本間 喜一



大学記念館

大学概要

◆ 名古屋校舎(名古屋市中村区)

法学部、経済学部、経営学部、現代中国学部、
国際コミュニケーション学部



◆ 豊橋校舎(豊橋市)

文学部、地域政策学部、短期大学部



◆ 車道校舎(名古屋市東区)

大学院、法科大学院



大学概要

建学の精神

- 「世界文化と平和への貢献」
- 「国際的教養と視野をもった人材の育成」
- 「地域社会への貢献」

学生数: 10,337名

教育職員数: 272名 / 事務職員数: 150名



設立趣意書碑文と自由受難の鐘

情報セキュリティ導入経緯

2005年度

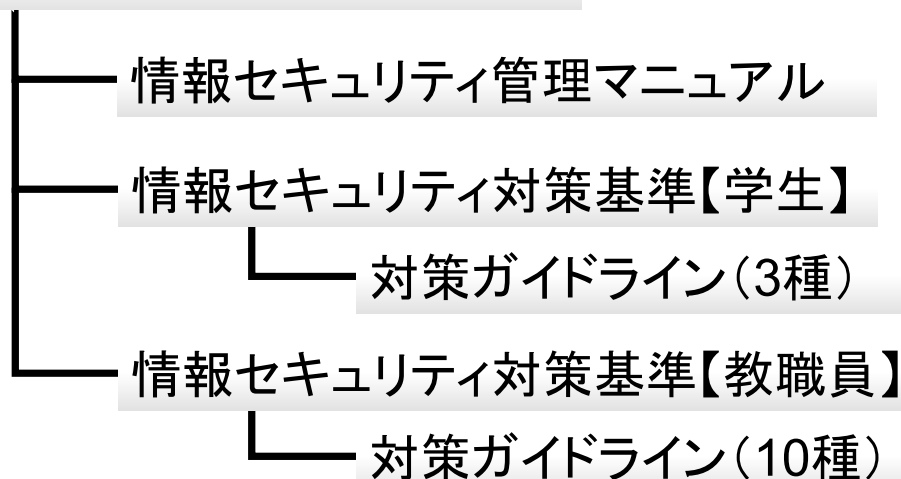
情報セキュリティ委員会発足

1. 基本方針の策定
2. リスクアセスメント(事務局)
3. リスク対応方針決定
4. 情報セキュリティポリシーの策定
5. 対策基準の策定
6. ガイドラインの策定

情報セキュリティ導入経緯

愛知大学情報セキュリティ関連文書

情報セキュリティポリシー



情報セキュリティ導入経緯

2006年度

情報セキュリティ対策の定着化(PDCAサイクル)

- ・ 技術的セキュリティ対策
- ・ 物理的セキュリティ対策
- ・ 利用者教育

2007年度

- ・ 事務局内部監査実施(14課室)

情報セキュリティ導入経緯

2009年度

情報セキュリティ委員会



危機管理委員会 情報セキュリティ部会

情報セキュリティインシデントも含め、大学全体の危機管理として位置付け

情報セキュリティの取り組み

【学生】

- ・新入生ガイダンスでの情報セキュリティ注意喚起
- ・Moodle自習用コンテンツ（「INFOSS情報倫理」）
- ・情報セキュリティ十ヶ条の掲示
- ・各種掲示等

情報セキュリティの取り組み

情報セキュリティ十箇条

1. ログインIDやパスワードの取り扱い
2. パスワードの変更
3. クリアデスク
4. 悪意のあるソフトウェア
5. 電子メールの利用
6. モバイル機器の使用
7. 学外からのアクセス
8. 不正アクセス
9. 情報マナー
10. 報告

愛知大学情報メディアセンターホームページ(右下)

→ [<http://saturn.aichi-u.ac.jp/kisoku/security.html>]

情報セキュリティの取り組み

【教育職員】

- ・情報セキュリティの手引配布
- ・定期的な情報提供(Web)
- ・注意喚起の送付(メール、教授会での文書配布等)

情報セキュリティの取り組み

【注意喚起】Active! mailの利用ユーザーを狙ったフィッシング詐欺について

アクティブメールをご利用の方へ

フィッシング詐欺に御注意下さい。

Active!Mailの利用者を狙ったフィッシング詐欺のメールが何度も配信されているようです。(以下のような送信者と件名です。)

送信者: "Active!Mail"
件名: 親愛なる: アカウントのユーザー

次のサンプルのようなメールを受信されても、本文中のリンクをクリックせず、返信もせず に速やかに削除して下さい。また決してメールの送信元に連絡をしないよう注意をお願いします。

親愛なる: アカウントのユーザー

このメッセージは、システム管理者のサポート センターからです。形成します。メール アカウントの設定格納域の制限を超えたことを管理者/データベース、現在実行しているコンテキストから再検証を行うまでにいくつかの新しいメールを送受信することができない場合があります。電子メール アカウント。あなたの電子メール アカウントを防ぐためにされてから閉じられると、あなたのメールボックスを再検証ください をクリックし、なめるアップグレードを実行するには下のこのサイトをご覧ください。

<http://activemail.hoge.hoge.com/>

正常にことを確認した後、アカウントがアクティブなまましなければなりません。あなたのアカウントの詳細。これへの迅速な対応していただきありがとうございます

通知我々 あらゆる不便を謝る。
継続的なヘルプとサポートをお願い申し上げます。
おかげで & よろしく



アクティブメール(Active!Mail)のユーザーを狙ったフィッシング詐欺のメールが何度も配信されています。アクティブメールを騙るメールを受信しても 本文中のリンクをクリックせず 返信もせず 速やかに削除して下さい。

情報セキュリティの取り組み

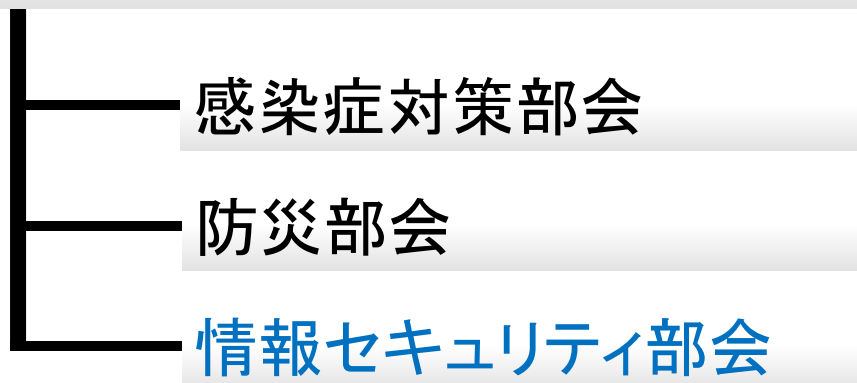
【事務職員】

- ・事務局内部監査
- ・定期的な注意喚起、情報提供(グループウェア、メール送信)
- ・情報セキュリティ教育(講習会の開催)
- ・利用システムにおける適切なアクセス制限

情報セキュリティ管理体制

危機管理委員会

学長(委員長) 事務局長(副委員長) 副学長
総務・企画部長 事務部長



情報セキュリティ管理体制

◆部会長(情報セキュリティ責任者)

副学長及び学部長のなかから学内理事会において選任

◆全学システム管理責任者

- 事務局長

◆委員

- 情報メディアセンター所長 1名
- ICT委員会から互選された者 2名
- 大学評議会において選出された者 2名
- 事務職員の中から課長会議より選出された者 2名
- 情報システム課長

情報セキュリティ管理体制

情報セキュリティ責任者(情報セキュリティ部会長)

1. システム管理者を通じて、全学に情報セキュリティポリシーの遵守を励行させる。
2. 危機管理委員会へ情報セキュリティに関する重要事項の報告又は提言、勧告を行う。
3. 全学システム管理責任者からセキュリティ対策として実施した事項及びセキュリティ管理の状況に関する報告を受け、必要な措置を行う。
4. 情報セキュリティに関する学外からの苦情への対応及び学外から受けた被害への対応にあたる。

情報セキュリティ管理体制

全学システム管理責任者(事務局長)

1. 情報セキュリティを守るために必要と判断したときは、緊急避難措置をとることができる。
2. 全学の情報セキュリティの管理及び監査の実施に関し、部会長を補佐し、情報セキュリティの保持と強化のために必要な技術的措置を提案する。
3. 情報セキュリティの保持と強化のために必要な技術的措置をシステム管理者に指示し、情報を提供するとともに、実施に関する協議を行う。

情報セキュリティ管理体制(非常時)



緊急対策本部(役割)

本部長	緊急対策本部の総括
副本部長	本部長の補佐
総務班	対策本部の運営、関係機関との連絡調整、教職員の動員
対策班	緊急対策の検討・調整、避難・救出・救援・救護等の検討・調整
情報班	機器情報の収集・伝達・報告・分析・記録、緊急対策の情報収集・報告、通信伝達体制(機器等を含む)の整備
広報班	報道発表、報道機関への情報提供、報道提供資料の収集・報告・記録、学生・教職員・周辺住民等への情報提供

情報セキュリティ管理体制(非常時)



緊急対策本部(担当者)

本部長	副学長(経営又は教学担当)
副本部長	事務局長
総務班長	総務・企画部長
対策班長	情報セキュリティ部会部会長
情報班長	情報セキュリティ部会副部会長
広報班長	広報課長
班員	情報システム課長並びに情報セキュリティ部会委員のなかから本部長が指名

現状と課題

- 現時点で緊急対策本部を設置するような重要インシデントは発生していない
 - 実際に緊急事態が発生した場合に、この体制が機能するかどうか不明
- 教員や学生に対する情報セキュリティの周知、教育が不十分
 - 情報セキュリティの手引の配布(教員、非常勤)や、初年次教育(学生)だけでは不足
- 高度化する脅威への対策
 - 技術的な対策にはコストがかかる